

新日本語文法

初級篇

臺灣大學陸怡麟博士編著

世一書局印行

台大研究所

陸怡麟博士 編著

新日本語文法

初級入門

世一書局印行

國立中央圖書館出版品預行編目資料：

新日本語文法 / 陸怡麟編著。 -- 初版。 臺南

市：世一，民80

面；公分

含索引

ISBN 957-517-185-3(平裝)

1. 日本語言一文法

803.16

80004632

版權所有 請勿翻印

編著：陸 怡 麟

發行人：莊 朝 根

發行所：世一書局股份有限公司

● 地址：台南市新樂路46號

● 電話：(06)2618468 • 2618469

● 登記證：局版台業字第3014號

印刷者：世一書局股份有限公司印刷廠

● 地址：台南市新樂路46號

經銷者：世一書局股份有限公司

● 地址：台南市新樂路46號

● 電話：(06)2618468 • 2618469

● 郵撥：0388063 ~ 7(世一書局)

F A X : (06)2618460

中華民國八十年三月初版

特價：
180
元(平裝)

ISBN:957-517-185-3

本書如有缺頁或裝訂錯誤請寄回調換

本局特聘蔡文斌律師為法律顧問，本書已向內政部申請著作權，若有抄襲或盜印，本局將依法追訴到底。

此为试读, 需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

作者簡介

作者：陸怡麟，畢業於東京大學、大阪大學、名古屋大學三國立大學之博士。

現任職於台灣大學教授、水野外語主任、東京大學及史丹福大學客座教授。

出版過各類書籍，為國內難得三學科博士學位之學者。

前 言

日文並不如一般所想的那麼難，之所以認為它難，主要的原因是「不懂日文文法的結構」，因此而捨文法以就所謂的捷徑，反而多走了大段冤枉路。

筆者從二年前回國之後，在各大專院校及補習班任日文教師以來，一直很痛心國內學習者，凡事看目前，而不把眼光放大、放遠，延及到學語言亦是如此，只想學會話，放棄從根本打起之念頭，所以學了好幾期語言課程，仍學不會，只會幾句會話而已，覺得無趣而放棄等到需要用到語文時，又從初級學起惡性循環，造成國內目前學語文者成金字塔形，初級學習者仍佔大半數的原因。

而各教育單位，甚至教育者，爲了迎合大眾的胃口，也放棄基礎教育，不從文法規則教育初級者，而採一些簡單會話文教導學習者，實在令人扼腕，徒浪費學習者的經費及時間、精神。

因此筆者及一些有心同學，將在日本學習，教師養成及留學生語

言訓練方式，將文法加以規則化、簡易化，配合國內環境而成一種快速、簡易，但是却是從語言的根本著手的教學方法，用之於教導一些真正想學好日文，或者想出國留學者身上，實驗證明，短短3個月之內，學生們可以自行閱讀、寫作文，半年後，可以聽錄音帶達百分之50，更甚而一年後，參加日文能力檢定考合格（從あ、い、う、え、お學起），足足縮短了學習時間達7成。

筆者有意將此文法方式，教導國內更多願學日文者，使其更快速學會日文，而不用花長時間靠老師，得以自立學日文。因此編了此本「簡易快學文法基礎」，以供初級正在學習者，做為參考，如果能配合以文法為主的老師學習的話，更能達到此書的效果。

1991年5月

目 次

頁

序 章	1~2
第一課	3~8
第二課	9~24
第三課	25~35
第四課	36~39
第五課	40~44
第六課	45~50
第七課	51~54
第八課	55~78
第九課	79~90
第十課	91~97
第十一課	98~105
第十二課	106~118

第三課	119~125
第四課	126~132
第五課	133~141
總複習(一)	142~143
總複習(二)	144~147
總複習(三)	148~152
總複習(四)	153~154
總複習(五)	155~157
解答	158~183
まどめ(總整理)	184~189
附錄1	190~200
附錄2(動詞活用形)	201~213

序 章

日語是由名詞、形容詞、動詞、所組合而成，而其結構則由文法來組成，（如：助詞，5段動詞變化等等），而成名詞句型，形容詞句型、動詞句型、我們將在本書一一講起。

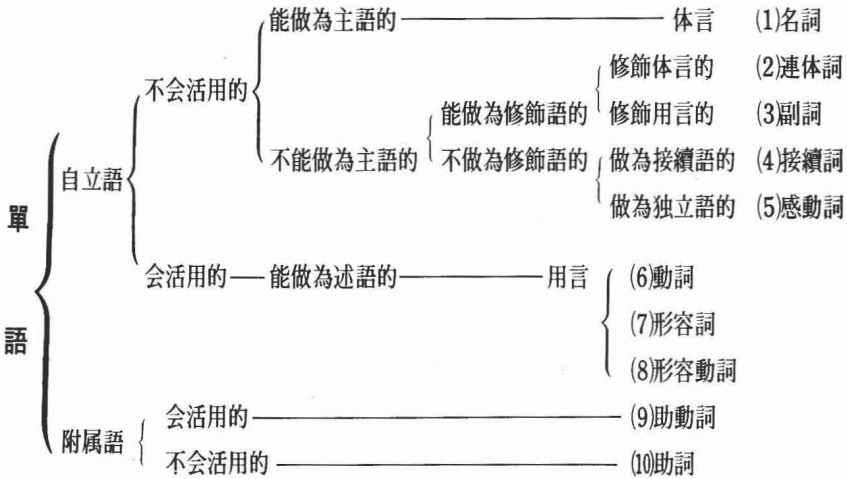
首先、我們得先了解日文的單語（單字）的種類。

依文法上的性質來分、而成為所謂「品詞分類」、如下：

一、品詞種類：（區分為10種）

1. 名詞：山、夏、台北、これ、それ等。
2. 連體詞：この犬、そんな人、ある時等。
3. 副詞：特に、かなり、実に等。
4. 接續詞：それから、しかし等。
5. 動詞：行く、みる、する等。
6. 形容詞：いい、高い等。
7. 形容動詞（又稱な、に名詞）：大丈夫、きれい、りっぱ等。
8. 助詞：が、に、でも、から等。
9. 感嘆詞：ああ、まま等。
10. 助動詞：行こう、打たれる等。

二、品詞分類表：



第一課

一、A、品詞分類：

場合指示	こ (近程) 說話人の周遭	そ (中程) 接近對方之處	あ (遠程) 距兩方均遠之處	ど (不定稱) 疑問句	品詞分類
事(入事、物)	これ 這個	それ 那個	あれ 那個	どれ 哪個?	代名詞
場所	ここ 這裡	そこ 那裡	あそこ 那裏	どこ 哪裡?	代名詞
方向	こっち (普語) こちら (敬語) 這邊	そっち そちら 那邊	あっち あちら 那邊	どっち どちら 哪邊	代名詞
指定	この 這、這個	その 那、那個	あの 那、那個	どの 哪? 哪個?	連體詞
様狀 子態	こんな ✓ 這様子	そんな 那様子	あんな 那様子	どんな 什麼様子?	連體詞
様子	こう 如此、這樣、這麼	そう 那樣、那麼	ああ 那樣、那麼	どう 如何? 怎樣?	副詞

B、句型練習：

1. 代名詞：

① A 是 B (A.=B)

これ	は本です。	這是書。
それ	はペンです。	那是筆。
あれ	は雑誌です。	那是雜誌。
ここ	は公園です。	這裡是公園。

そこ は空港です。

あそこ は駅です。

こっち (こちら) は学校です。

そっち (そちら) は駅です。

あっち (あちら) はデパートです。

那裡是機場。

那裡是車站。

這邊是學校。

那邊是車站。

那邊是百貨公司。

A 是 B 嗎？

どれ は本ですか。

どこ は駅ですか。

どっち (どちら) は公園ですか。

哪個是書？

哪裏是車站？

哪邊是公園？

② B 是 A (B = A)

本 はこれです。

ペン はそれです。

雑誌 はあれです。

書是這個。

筆是那個。

雜誌是那個。

公園 はここです。

空港 はそこです。

駅 はあそこです。

公園是這裡。

機場是那裡。

車站是那裡。

学校 はこっち (こちら) です。

駅 はそっち (そちら) です。

デパート はあっち (あちら) です。

學校是這邊。

車站是那邊。

百貨公司是那邊。

B是A嗎？

本	はどれですか。
駅	はどこですか。
公園	はどっち（どちら）ですか。

書是哪個？
車站是哪裡？
公園是哪邊？

2. 連体詞：

指 定	この	人（名詞）は先生です。	這個人是老師。
	その	ペン（名詞）は赤いのです。	那枝筆是紅色的。
	あの	公園（名詞）は綺麗です。	那座公園很美麗。
	どの	人（名詞）は林さんですか。	哪個人是林先生呢？

こんな	犬（名詞）は先生のです。	這樣子的狗是老師的。
そんな	人（名詞）はだめです。	那樣子的人是不良的。
あんな	公園（名詞）はりっぱです。	那樣子的公園是出色的
どんな	本（名詞）は教科書ですか。	什麼樣的書是教科書？

3. 副詞：

こう	やればよいのです。	這樣做就行了。
そう	言って下さい。	請那樣說。
ああ	言う場合には……。	那種場合……。
どう	したらいいですか。	怎麼做好呢？

二、句型註解：

1. 代名詞＝被用於代替人名及事物的名稱，可分二類：

①「人稱代名詞」乃用於指人。

②「指示代名詞」乃此課所言，用於指「事物」、「場所」、「方向」。

2. 連體詞＝又名「連體修飾語」、有二種作用：

①做為修飾語、修飾體言（名詞）之用。

例：健康はあらゆるものに勝ります。（健康勝過一切）。

「あらゆる」為連體詞、修飾「もの」名詞（體言）、成一單語、（所有事物）。

②乃此處所言「この、その、あの、どの」及「こんな、そんな、あんな、どんな」等連接名詞（體言）、乃成為一單語、有指示之作用。

簡言之：所謂連體詞者、乃「修飾體言用語」或「連接體言用語」、因此可謂、連體詞者、後必接名詞（體言）、始可成為單語。

3. 副詞＝自立語（能單獨成為語句中的一個單位）、但語尾的變化不能活用、也不能成為句子主語。

「副詞」通常涉及用言、修飾用言或包含用言的語節、亦有少類涉及其他副詞或名詞而成為「連用修飾語」。

4. 「こちら、そちら、あちら、どちら」主要指方向、但為敬語形、因此又成為指「事物」、「場所」的敬語句型。（一般在對外及對

長者時所用)。

三、簡易句練習：

1. これはかぎです。

かぎはこれです。

それは新聞です。

新聞はそれです。

あれは何ですか。

これは雑誌です。

どれは本ですか。

本はどれですか。

2. この女の人は誰ですか。

林さんです。

その本は何ですか。

教科書です。

あの辞書は誰のですか。

先生のです。

こんな人はどうですか。

きれいです。

そんなかばんは誰のですか。

私のです。

そうですか。

そうです。

四、問題：

1. これ=ペン

これはペンです。

A. それ=本

_____。

B. あれ=ざっし

_____。

C. これ=しんぶん

_____。

D. それ=じしよ

_____。

E. それ=きょう

_____。

F.あれ=だめ _____。

G.これ=ふろしき _____。

2.ここ=食堂 这里是食堂です。

どこ=図書館 这里是图书馆吗。

A.ここ=空港 _____。

B.そこ=山 _____。

C.あそこ=田中さんの家 _____。

D.どこ=郵便局 _____。

E.どこ=駅 _____。

3.この本=教科書 这本书是教科书。

A.この本=日本語の本 _____。

B.そのペン=日本製 _____。

C.あの建物=学校 _____。

D.どの本=雑誌 _____。

第二課

動詞

一、動詞變化：

1. 肯定句、現在式

五段活用變化		(肯定句、現在式)		文型、註解：
(肯定、現在式、普通語) 辭書形 連体形 (3段)	(肯定、現在式、敬語) ます形 連用形 (3段→2段)			
言	う	言	います	①五段活用變化在從「辭書形」(常体)變為「ます形」時、一概由單語尾字(第3段)改至(第2段)、再加ます。 ②「う、く、す、つ、ぬ、ぶ、む」一概列屬五段活用變化、但「る」却有三種活用變化、因此看到「る」還得先就「る」前一字來判定為哪種活用、此處「る」前一字發音在「單數段」(1、3、5段)、因此為「5段活用」。
書	く	書	きます	
行	く	行	きます	
押	す	押	します	
待	つ	待	ちます	
死	ぬ	死	にます	
呼	ぶ	呼	びます	
飲	む	飲	みます	
降	る	降	ります	

一段活用變化 (肯定、現在式)

(肯定、現在式、普通語)		(肯定、現在式、敬語)		文型註解：
辭書形 連体形 (3段)	ます形 連用形 (去る+ます)			
(上一段) み 見 で 出 出 来	る る	み で	ます ます	①此處「る」之前一字發音在「双數段」(2、4段)為上一段(2段)及下一段(4段)活用形。 ②上、下一段活用變化、一概去「る」、直接加上「ます」即可。
(下一段) で 出 み 見 見 せ	る る	で み	ます せ	